

新発売

土壌浸透・保水剤

保水ほすい

芝生専用



芝生のドライスポット・乾燥害の防止に!

保水の2大機能

浸透性

浸透評価試験

供試資材名	浸透時間
保水	10秒
他社 A剤	1分45秒
他社 B剤	20秒
他社 C剤	1分27秒



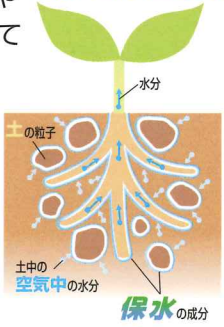
〈試験方法〉
各種資材の希釈液（推奨濃度）を作り、2cm角のフェルトを液表面に静置し、フェルトが底に沈むまでの時間を測定した。

※左記試験とは異なります。

保水性

保水は土壌中の水蒸気を吸いつける!

- ①「保水」の有機性成分が、土壌粒子や根のまわりに薄いフィルム状となって付着。
②その成分が、土壌孔隙に存在する空気中の湿気を水分として吸い取り、芝の根へ橋渡し。
③地上部の高温・乾燥にかかわらず、芝の根は湿潤な状態をキープ。
④効果は約1ヶ月持続。



●撥水問題は **水の浸透** 〈強力な浸透剤〉

●水持ち問題は **根の潤い** 〈独特な保水剤〉

大塚の 土壌浸透・保水剤 **保水** の2つの機能で **解決**!

土壌浸透剤 と 保水剤 が
初めてドッキング!



大塚化学株式会社

ドライスポットや乾燥害から芝生を守る「保水」

■使い方

- (1)ドライスポットの発生・症状が重症でない場合
(予防的・メンテナンス的)
保水2.5~5ml/m²を50倍以上に希釈して散布
- (2)ドライスポットの発生・症状が重症の場合(治療的)
保水10~20ml/m²を50倍以上に希釈して散布

使用間隔:1ヶ月

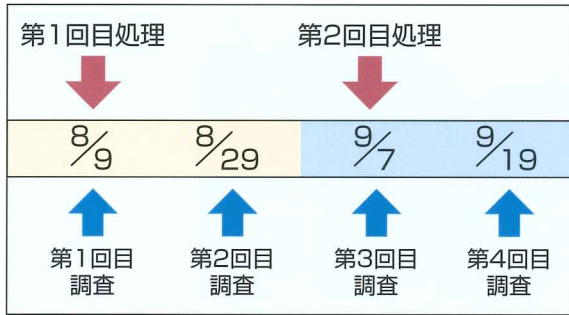
■より効果を高めるには…

- (1)雨上がりなど土壌が湿っている状態での散布/散水がより効果的です。
- (2)散布後なるべく早く後散水を行ってください。(できれば3~4時間以内)
- (3)エアレーション・コアリング後の散布/散水が効果的です。

保水の成分

- 植物由来成分(保水効果)
- 界面活性剤(土壌浸透作用)
- 無機イオン(耐乾性増強)
- 有機酸(発根促進)

ベントグラスのドライスポットに対する「保水」の効果



試験機関 西日本グリーン研究所

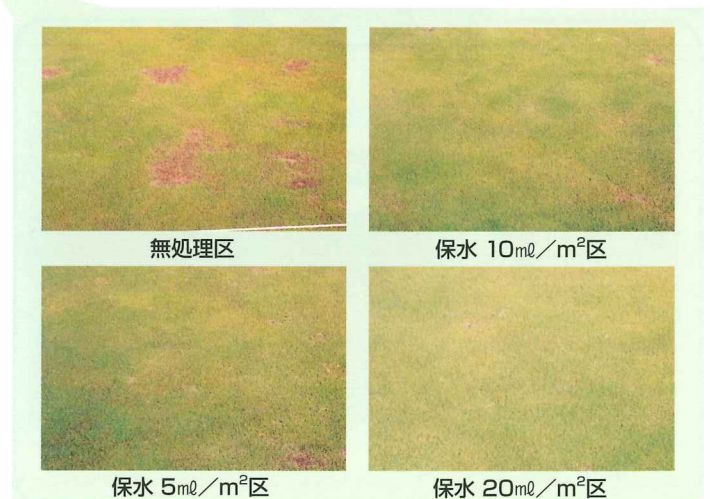
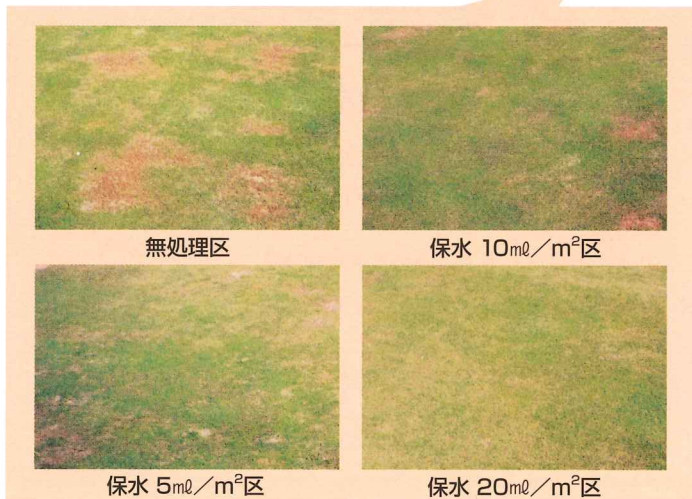
試験概要

- 試験場所 北九州市若松区乙丸 若松ゴルフ倶楽部ナーセリー
- 試験区 ①保水 5ml(1ℓ/m²)区
②保水 10ml(1ℓ/m²)区
③保水 20ml(1ℓ/m²)区
④無処理区
- 供試芝草 ベントグラス(品種名:コブラ)
- 処理時期 ①第1回目…平成12年8月9日
②第2回目…平成12年9月7日
- 調査時期 ①第1回目…平成12年8月9日
②第2回目…平成12年8月29日
③第3回目…平成12年9月7日
④第4回目…平成12年9月19日
- 調査事項 ドライスポットを含む乾燥害発生程度を、0(健全)~10(全面が褐変)段階に区分・調査し、スコアリングした。

試験結果

試験区	8月9日	8月29日	9月7日	9月19日
保水 5ml/m ² 区	1.5	1	3	1
保水 10ml/m ² 区	1	0.5	2	0.5
保水 20ml/m ² 区	2	1	2.5	0
無処理区	2	2	4.5	3

- 乾燥害の程度 健全:0~全面が褐変:10
- 数値は2連制の平均値



■使用・保管上の注意事項

- 高温時の日中の使用はさけてください。また、散布後は必ず十分散水してください。
- 農薬や肥料など他剤との混合は、さけてください。
- 使用前にラベルをよく読んで、正しくご使用ください。
- 使用後は、手を水でよく洗ってください。

【保管】

直射日光をさけ、食品と区別して保管ください。
保存中に色調が変化することがありますが、本剤の品質に問題はありません。

包装:1ℓ×12本/ケース

■ラベルをよく読んで、記載以外には使用しないでください。 ■本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ■空ビンには園場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。



大塚化学株式会社

〒540-0021 本社/大阪市中央区大手通3-2-27
TEL (06) 6946-6241 (代)
URL: <http://WWW.otsukac.co.jp>

●取り扱い